

第24回デメンシアカンファレンスを開催

2017年3月14日

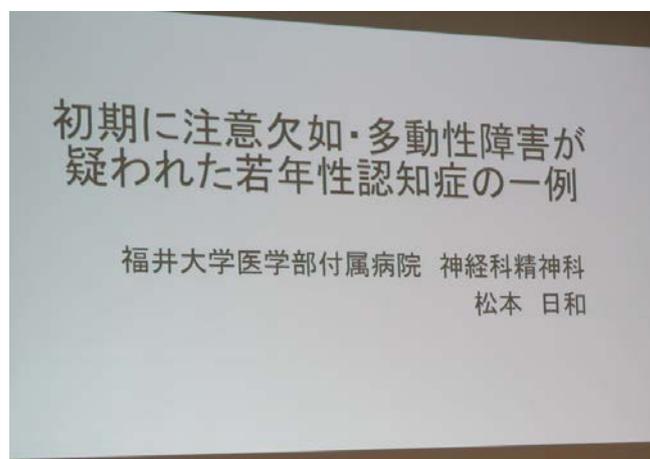
3月14日（火）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第24回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、谷野呉山病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、国立病院機構北陸病院、福井県立すこやかシルバー病院の10施設が参加しました。

「初期に注意欠如・多動性障害が疑われた若年性認知症の一例」のタイトルで、福井大学からの症例報告が進められ、各大学、病院間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子（福井大学会場）



症例報告のスライド



各会場の様子

第24回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『初期に注意欠如・多動性障害が疑われた若年性認知症の一例』

発表者:松本 日和(福井大学医学部附属病院 神経科精神科)

司 会:東間 正人(福井大学医学部附属病院 神経科精神科)

【要 旨】

症例は51歳女性。主訴は忘れ物とミスが増えたこと。既往歴に横行結腸癌があり、X-2年9月に切除術を行ったが、術後抗がん剤治療も終わり再発はしていない。

X-2年3月頃より易怒性、携帯電話の紛失、交通ルール違反、交通事故等があった。X-2年9月の結腸癌術後に心気症が疑われてAクリニックを紹介受診した。SSRIが処方されて易怒性、心気的な訴えは軽減し、復職したが仕事でミスや記憶違いが多く、注意欠如・多動性障害(以下AD/HD)が疑われてストラテラを処方された。改善を認めないため、X-1年10月に精査目的にB病院を紹介初診、その際にB病院では脳波異常を認めて、X-1年12月精査目的に当科紹介初診となった。神経心理学的検査では、注意障害および視空間認知障害が目立ち、記銘力障害は目立たなかった。血液検査および髄液検査に異常所見を認めず、頭部MRIにて頭頂葉～側頭葉の著明な萎縮と血流低下、PiB-PETで皮質にびまん性のアミロイドβの沈着を認めた。画像および臨床所見よりPosterior cortical atrophyと診断した。

【質問・意見】

質問:若年性で海馬の萎縮が目立たないケースでは髄液でタウが上がっている可能性があるが、はかっているか?

回答:髄液検査は行っているが、タウは未測定です。

コメント:PCAというには視覚症状が目立たず、若年性のアルツハイマーのバリエーションではないか。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

第24回

デメンシアカンファレンス

2017年3月14日(火) 18:30~20:00

「初期に注意欠如・多動性障害 が疑われた若年性認知症の一例」

担当: 福井大学 精神医学

対象: 参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生を含む)

会場: 認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所

- ・金沢大学(医薬保健学域医学類教育棟地下大目的室)
- ・富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- ・福井大学(院生棟4階セミナー室)
- ・金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- ・国立病院機構医王病院(臨床研究棟会議室)
- ・石川県立高松病院(医局会議室)
- ・国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
- ・谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- ・魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- ・福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

※申し込み不要

※出席される方は受付で出席簿に氏名等ご記入ください。

※教育コース履修者は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けて下さい。

●お問い合わせ先: 北陸認プロ運営事務局
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL 076-265-2149 FAX 076-234-4208
E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL [http:// ninpro.jp](http://ninpro.jp)